

特定非営利活動法人 集中治療コラボレーションネットワーク 設立趣旨書

近年、我が国では働き方改革が最重要課題の一つとして注目を集めているが、特に医療業界では2030年問題と称される近い将来に生じうる高齢化、労働者人口の減少に向けて特に大きな変革が求められている。遠隔ICUをはじめとする集中治療領域の医療の集約化も必然の流れと言えよう。

本年は新型コロナ肺炎で集中治療の重要性が認められると同時に医療受給バランスの崩れなどの問題点も浮き彫りにされたが、その解決のため従来は各施設単位で行っていた集中治療を、専門医の知見を活用して遠隔から集中治療の支援を行う組織作りが急務と考えられる。

そこで我々は継続性、公益性、透明性の高い臨床ならびに学術的事業を展開しつつ、関連学会と相互に協力し合える、特定非営利活動法人を設立することを決意した。

特定非営利活動法人として活動することにより、遠隔ICUによる診療支援を起点とした集中治療領域の医療の質向上とデータ利活用を目的として活動する所存である。診療支援による医療データの一次活用の先には、データの二次利用を行い、様々な学術活動に向けた動きを取ることが可能となると考えている。

2020年 9月 27日

設立代表者 住所又は居所

京都府京都市西京区川島有栖川町74番地1

氏名 橋本 悟

印